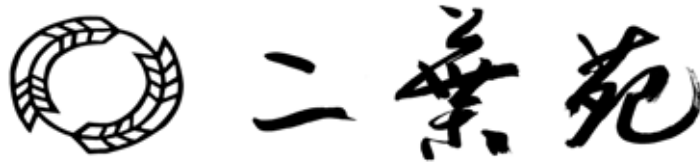


江戸染色フェア 2009年9月1日(火)～9月15日(火)
Dyeing of Edo



江戸庶民が芸術の域まで押し上げた伝統の染色技術

江戸小紋・江戸更紗

染色の長い歴史の中で江戸時代は、染色の技術が飛躍的に発展した時代です。職人たちは、様々な技法に挑戦していき、型染めもそのひとつでした。型染めは染める図柄に合わせて型を彫り、合理的で均一な絵柄を大量生産できる技法として広まっていきます。

型染めの普及により多くの人々がお洒落を楽しめるようになりましたが、江戸幕府がだした「贅沢を禁じる法令」のため、使える色に制限が加えられると、江戸の職人たちは、更なる工夫を重ね、一見無地だけれども、近くに寄ってみると繊細な文様が描かれている「江戸小紋」、中近東にルーツをもち、茶色の中にエキゾチックなデザインが施される「江戸更紗」など「職人たちの心意気」を感じさせる技術を磨きあげました。

今回はその江戸染色の老舗「二葉苑」より、昔ながらの色、柄をいかしながら現代の生活にマッチした様々なアイテムをご紹介します。

【主なアイテム】 価格は税込

- | | | | |
|----------|---------|---------|------------|
| ・ ブックカバー | 2,835 円 | ・ 印鑑ケース | 1,050 円 |
| ・ 手鏡 | 1,575 円 | ・ ミツ折財布 | 9,870 円 |
| ・ 指輪 | 840 円 | ・ ピアス | 2,730 円 |
| ・ ブレスレット | 2,310 円 | ・ スカーフ | 29,400 円から |

日時 2009年9月1(火)～9月15日(火) 11:00～19:00

会場 **Rin** 東京都港区北青山 3-6-26 tel: 03-6418-7020

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」B 2 または B 4 出口より徒歩 2 分